

趣旨説明

大学評価コンソーシアム副代表幹事

(独) 大学評価・学位授与機構 研究開発部

浅野 茂

大学評価担当者集会



・九州大学が世話人となり大学評価担当者集会を2007年に開催し、今年で8回目となる。

- ・相互交流の場
- ・評価にいかに対応するか
- ・評価を評価で終わらせない
- ・元気の出る評価

・大学評価担当者集会は4年前から大学評価コンソーシアムが開催。

・これまでの九州大学さんが何とかしてくれる「会」から、「みんなで少しずつ力を出し合う」方式を目指し、昨年からは会場を神戸大学に移して開催。

みなさん、おはようございます。お忙しい中、早朝からお集まりいただき、ありがとうございます。本コンソーシアムの副代表幹事として、企画を担当しております浅野の方から、簡単に大学評価担当者集会の趣旨を説明させていただきます。

今回、初めてご参加いただくという方、どれぐらいいらっしゃるでしょうか。初めて、ご参加の方、

挙手いただけますでしょうか。

例年お越しいただいている方を多くお見受けしましたので、実際に挙手いただいた方の比率（約6割）が多くて驚いております。我々といたしましては、毎回、お越しいただける方には、非常に感謝いたしますが、同様に、新たにお越しいただいた方におかれましても、感謝申し上げます。前置きは、これぐらいにして、簡単に大学評価担当者集会の経緯などを説明させていただきます。

まず、大学評価担当者集会ですが、こちらのほうに書いておりますように、当初、九州大学が世話人になってくださり、2007年に開催した大学評価担当者集会が起点になっております。したがって、今年で8回目となります。当時、法人評価や認証評価が導入されたことにより、どのようにして、こうした大学評価に対応していくのか、ということ議論する場として設定されました。特に、大学評価で求められるエビデンスをどのようにして学内で収集するのか、収集した情報を、どのようにして報告書に反映していくのか、といった、評価書作成のテクニックなどが議論の中心に置かれていました。また、国立大学の評価室に所属する教職員20名程度の小規模の集まりで、それぞれの大学の状況や問題点を共有し、どのようにすれば解決できるのかについて、みんなで考えるということをやっていました。そして、実際の評価作業においては、自己点検・評価の過程から、いろいろな課題が見えてきて、それを大学経営にどうつなげていくか、というようなことが新たな課題として出てくるようになりました。このように、単なる評価対応だけでなく、いろんな立場で大学に関係されているみなさんが、それぞれの状況を共有できる「相互交流の場」として位置づけていこうということになりました。また合わせて、先ほどお話しし

たように「評価にいかに対応するか」ということから発展させ、「評価を評価で終わらせない」ためにはどういうことをしていけばよいのかについても、考えていく必要性ができてきました。その流れの中で、IRの話などが出てくるようになり、勉強会等を開催するようになりました。このように、当初の受け身の評価から、評価結果やIR活動を通じて、どのようにすれば「元気（やりがい）の出る評価」、「大学にとって意味のある評価」に転換できるのか、というのを最近の課題として捉えているところです。

こうした、新たな課題に対応していくうえで、当初のように、有志の会では対応が難しくなってきました。そのため、2009年に「大学評価コンソーシア」を立ち上げ、以降は、この組織の下で大学評価担当者集会を開催しているところです。なお、このコンソーシアムは、通常の大学単位で組織されるのとは異なり、大学評価に関係されている方が、個人で、かつ任意で加盟していただく団体です。そのため、形式的な法人格などは取得しておりませんし、会費もいただかない、いわばボランティアな組織です。

冒頭申し上げたように、当初は、九州大学さんが何とかしてくれる「会」でした。しかしながら、評価の現場で皆さんが培われたノウハウを、みんなで少しずつ出し合って、評価をどのように自分たちの大学に定着させることができるか、あるいは定着するためにはどういったことが必要なのかといったことを、他の大学のみなさんと共有しながら進めてきています。なお、一昨年からは、神戸大学に会場を移して開催させていただき、神戸大学では今回、3回目という形になります。

プログラム 1



9:50 - 16:00 分科会

第一分科会「大学の改善に活かす評価・IR」

会場：瀧川記念学術交流会館 大会議室

(当会場です。)

第二分科会「初めて評価を担当される方へ」

会場：瀧川記念学術交流会館 大会議室

→ 留学生センター101教室

(まずは当会場です。)

続きまして、本日のプログラムの説明に移らせていただきます。すでに、事前にご確認いただいているかと思っておりますので、要点のみを説明させていただきます。今年の大学評価担当者集会は、4つの分科会で構成しております。まず、第一分科会は「大学の改善に活かす評価とIR」です。昨年まで、3年計画で、「収集編」、「分析編」、「活用編」のシリーズで展開してまいりましたが、これらの実績

を踏まえながら、先ほどの「元気の出る評価」につなげるため、皆様で課題を持ち寄っていただき、共通する課題に直面されていらっしゃる皆様で、そうした課題をどのようにして改善につなげていくのかについて、議論いただく分科会として位置づけております。今回、事前に提出いただいた課題を基に、こちらで班分けをさせていただき、それぞれの班にファシリテータを配置させていただきました。午後のセッションでは、ファシリテータの皆様とともに、活発にご議論いただければと思います。なお、初めてご参加いただく方におかれましては、冒頭に説明いたしま

た様に、この集会では、みんなで考えることを基本としていますので、ぜひ議論に加わっていただきたいと思います。

次に、第二分科会は「初めて評価を担当される方へ」ということで、名称の通り、初めて評価業務に携わられる方を対象に準備させていただいております。本分科会では、評価の基本的な枠組みから、自己点検・評価書を確認する際の基本的な考え方、留意点等、実例を交えながら議論していただきます。我々の取組の中で、最も歴史と実績のあるのが本分科会ですし、コンテンツもかなり充実してきましたので、初めてご参加いただく方にとっても、有意義な内容を提供できると思います。

プログラム2



10:00 - 16:00

第三分科会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方」

会場：留学生センター101教室
(全体会終了後、誘導します。)

9:50 - 16:00

第四分科会「評価・IR部署の業務整理と改善支援」

会場：瀧川記念学術交流会館 大会議室
→ 留学生センター102教室
(午前中は、この会場です。)

続きまして、第三分科会は「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方」です。本分科会は、大学評価・学位授与機構のEA研究会で開発しておりますツールを活用し、実際の計画策定に係る基礎的作業を実践していただきます。今回は、時間の関係上、ステップ1&2を用いて、事前に準備いたしました演習問題に沿って、何が課題かをグループで議論していた

できます。その議論の結果を、ツリーに体系化していただき、それを用いて、目的と計画に展開していくための作業に取り組んでいただきます。

そして、第四分科会は「評価・IR部署の業務整理と改善支援」です。本分科会は、今回、新しい設定させていただいた、試行的な分科会です。評価・IR業務で一定の経験をお持ちの方を対象に、我々の方で検討してまいりました枠組みを用いて、それぞれの大学における評価・IR業務を実施目的別に整理していただいたうえで、それらの業務を、どのようにして意思決定あるいは改善支援につなげていくことができるのか、ということを議論していただきます。

お願い



- ❧ 分科会など大学評価担当者集会の各種イベントの内容、成果は原則的に公開となります。ご発言、成果物、記録用写真などもwebサイト等で公開させていただきますので、あらかじめご承知おきください。
- ❧ 参加者アンケートを実施させていただきますので、ぜひともご協力ください。
- ❧ (毎度ながらのお願いとなりますが) 携帯電話の通話や動作音等については、回りの参加者のみなさまにご配慮ください。

以上が、本日のプログラムです。ここからは、お願いごとで申し訳ありませんが、我々としましては、ここに集まっていたただいた皆様の議論を何らかの成果物としてまとめ、その成果物を積極的に公開し、蓄積していくことを基本としております。蓄積した成果物は、本日、出席いただけなかった皆様に共有させていただくとともに、今後の勉強会等の参考資料としても活用させていただきます。

我々としましては、こうした実践的な知見を蓄積しながら、少しでも大学評価・IR業務を進展させることができると考えております。なお、ご発言等、成果物にまとめていく段階でご確認いただき、公開に馴染まない内容、あるいは不備等ありましたら、修正等をさせていただきますので、ご了承とご協力をお願いいたします。

2つ目のお願いですが、アンケートを実施させていただいております。これは毎年お願いしております、来年の企画の際の判断材料にさせていただいております。ぜひ、忌憚のないご意見をお書きいただき、今後、我々の方で検討させていただきますので、併せてご理解とご協力を賜りたく存じます。

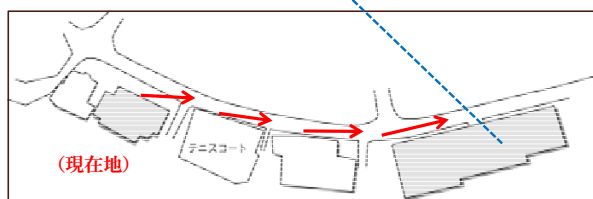
その他、期補填黄なことではありますが、携帯電話等、進行の妨げになりますことに関しては、みなさまのご協力をお願いしたいと思います。

会場のご案内



第三分科会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方」

会場：留学生センター101教室



※全体終了後のご移動となります。

留学生センター

(場所と移動のご案内となりますので記述を省略します。)